

画像データインデックス生成プログラム 解説書

株式会社システムズテクノロジー

2009/11/01

前提

御使用上以下の前提がございます。

システム

Windows XP, Vista

Windows7は確認中です。

ソフトウェア

プログラムを作動するためにはMicrosoft .NET Framework Version 2.0(以上の)再頒布可能パッケージ が必要です。

PCにまだ導入されていない場合、下記マイクロソフトのサイトをご覧ください。

注意: 導入しないで実行すると起動時にエラーが発生し使用できません。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=0856eacb-4362-4b0d-8edd-aab15c5e04f5&DisplayLang=ja>

目次

1. 機能
 - 1.1 想定するシステム
 - 1.2 想定する操作手順
 - 1.3 提供機能と操作説明
 - 1.3.1 画像インデックス生成
 - 1.3.2 検索
 - 1.3.3 画像情報出力
 - 1.3.4 データ名更新・削除
 - 1.3.5 データベース切り替え
 - 1.3.6 製品切り替え

2. サンプルインデックスについて

1. 機能

1.1 想定するシステム

以下のシステムを想定し機能を提供いたします。

- (1) 大量の画像データの索引を自動的に作成する。
- (2) 指定した条件にあった画像を検索できる。

1.2 想定する操作手順

- (1) 最初に「画像インデックス生成画面」を使用して画像が存在しているハードディスク
CD
DVD
SD, 目盛りスティック、XDカード、コンパクトフラッシュカードなどのデジタルカメラのカード
USBメモリー
を読み込ませてインデックスを生成してください。
- (2) インデックスの生成が終わったら「検索画面」に抽出条件を与えてサムネール画像を表示させてください。
- (3) ひとつのサムネール画像上でマウスの左ボタンをクリックして画像情報を表示してください。
この画像がどこに存在するものかわかります。
- (4) こんどはマウスの右ボタンをクリックして画像処理メニューを表示してください。
このメニューからファイル名変更、画像ファイル削除、ビューワーでの実画像表示、
実画像のクリップボードへのコピーが出来ます。
ビューワーが画像編集機能を持っていれば画像の編集も可能です。
- (5) 画像にチェックを入れて画像情報出力ボタンを押下すれば
画像情報のファイル出力
サムネール不画像を含めて画像情報の印刷
画像ファイルのコピー
が出来ます。
画像ファイルのコピー機能で選択した画像を一つのフォルダーに集めCDに書き出す場合、
CD作成ソフトが必要です。このプログラムにはCD作成機能はありません。

1.3 提供機能と操作説明

以下の機能を提供します。

(1)画像インデックス生成。

(2)検索抽出。

(3)画像情報表示。

(4)画像編集、削除、画像名変更。

(5)画像情報ファイル出力。

(6)画像情報印刷。

(7)画像複写。

(8)画像インデックス名称変更。

(9)画像インデックス削除。

1.3.1 画像インデックス生成

画像探索インデックス生成プログラム

検索 インデックス生成 データ名更新・削除 データベース切り替え

処理の選択

新規 再処理

検索蓄積実行

件処理中 開始時間 終了時間

処理中パス

抽出条件

登録する画像が存在するドライブまたはフォルダー 参照

静止画 GIF JPG BMP PNG WMF TIFF

動画 MOV MP4 AVI MPG

サイズ バイト以下を除く

インデックス作成情報

データの名称
検索のキーにもなるので詳しく記述ください。カンマ、シングルクォーテーション、ダブルクォーテーションなどは入力できません。

メディアのタイプ

提供製品: SN20091101002118
株式会社システムズテクノロジー ホームページ

処理の選択

新規: 通常こちらにチェックを入れてください。そして抽出条件を指定してください。

再処理: すでに同じドライブ、フォルダーのインデックスを作成済みで再度最新の状態にしたい場合、チェックを入れてください。既存インデックスのデータ一覧を表示しますので該当データを選択してください。

実行

検索蓄積実行ボタン: 指定されたドライブまたはフォルダー下の画像ファイル探索を開始し、インデックスを作成します。
cドライブのように全てのシステムが存在するドライブの場合、容量にもよりますが30分～2時間くらいかかることもあります。
CDは1分以内、DVDでも数分以内で処理を終えることができます。
またフォルダーを指定する場合、画像以外のファイルが少ないと考えられますので比較的処理時間は早いと思われます。
探索中は処理中のパス、処理件数を表示します。しかしシステムにより表示できない場合もありますが処理は問題ありません。

抽出条件

登録する画像が存在するドライブまたはフォルダー: 探索するドライブまたはフォルダーを指定してください。
参照ボタンを押下するとシステムのドライブ、フォルダーを選択できます。

参照ボタン: システムのドライブ、フォルダーの一覧を表示します。探索するドライブまたはフォルダーを選択してください。

静止画

インデックス自動生成機能は指定されたドライブ、またはフォルダー内の全ての画像を検査します。そのため不要な画像のインデックスを作成してしまう場合があります。必要な画像、不要な画像を絞り込むため画像の種類を選択できます。

必要な静止画の種類にチェックを入れてください。

GIF: 図形データとして作成されることが多いタイプです。

JPG: 通常デジカメの画像タイプとして使用されます。

BMP: 市販プログラムパッケージの内部使用の画像などでよく使用されます。

PNG: アドビ社の画像処理プログラムなどで使用されています。

WMF: Windowsで定義された画像データです。

TIFF: 昔から良く使われている画像のタイプです。

動画

動画のインデックスを生成する場合、チェックしてください。インデックス自体動画でも静止画と同じサイズです。不要であればチェックをはずしてください。

MOV: オリンパス、キャノンパワーショット、パナソニックの一部デジカメの動画の形式です。AppleのQuickTimeの形式です。。

MP4: ソニーのデジカメの一部で使用されています。QuickTime, YouTubeなどで使われています。

AVI: ニコン、カシオ、キャノン、リコー、フジのデジカメで使用されています。Windowsの標準画像形式です。

MPG: ソニー、オリンパスのデジカメの一部で使用されています。

注意: デジカメメーカーは複数の動画形式を採用していることが多いので上記記述は一般的な製品での記述です。

サイズ: 指定したサイズ以下の画像データは抽出しません。小さなサイズの画像はシステムのアイコンなどの用途で使用されていることが多いのでこのような不要ファイルのインデックス生成を避けるための指定です。
初期値は1000バイトです。

インデックス作成情報

データの名称:

この探索で見つかった画像データのインデックス全体につける名称を指定します。

再処理や、検索抽出、員でクス名称変更、削除で使用します。

検索抽出時には検索キーとして使われるのでデータを特定するための情報を入力ください。

例) データの名称: 東北旅行鳴子温泉いつもの仲間(2009年10月)

抽出条件のデータ名称欄入力: 旅行 “旅行”という名称を含むインデックス内の画像を検索します。

抽出条件のデータ名称欄入力: いつもの仲間 “いつもの仲間”という名称を含むインデックス内の画像を検索します

制限事項: カンマ、シングルクォーテーション、ダブルクォーテーションの入力は出来ません。

メディアのタイプ: 登録する画像が存在するドライブまたはフォルダーがPCのハードディスク、CD/DVDドライブなのか外部接続機器なのかを指定します。

この指定を誤ってもインデックスは生成されますが検索機能が正しい抽出を行わない場合があるので正確に入力してください。

指定できるタイプは次のものです。

HDD: 画像データがPCのハードディスクに存在する場合選択してください。

CD: 画像データがCDに存在する場合選択してください。

DVD: 画像データがDVDに存在する場合選択してください。

CARD: 画像データがコンパクトフラッシュカード、SDカード、メモリースティックなどのカードに存在する場合選択してください。

USB: 画像データがUSBメモリーに存在する場合選択してください。

1.3.2 検索

画像探索インデックス生成プログラム

検索 インデックス生成 データ名更新・削除 データベース切り替え

抽出条件

データの名称 一覧 フォルダーの名称 クリア

ファイルの名称 画像のタイプ メディアのタイプ それぞれの名称に含まれる部分文字の指定が可能です。

登録日 1999/11/05 ? ~ 2009/11/05 ? ファイルサイズ 最小 最大 (C)Copyright Systems Technology Inc. 2009 ver 1.0.00

表示条件

ファイル名称順表示 表示件数 100 件 検索 開始 番 件数 0 件

抽出データ処理

全選択 画像情報出力 選択を処理済みに 全解除

画像の上でマウス左クリックで画像情報表示、右クリックで画像編集メニュー表示 画像のチェックボックス選択後、画像情報出力ボタン押下で情報出力、印刷、画像複写

抽出条件

クリアボタン:	抽出条件を初期値に戻します。文字入力欄は空白、登録日はシステムで決めた日付になります。
データの名称:	抽出するデータのインデックスのデータ名称の一部の文字を指定します。この文字を含むデータ名称が検索対象になります。
一覧ボタン:	データの名称一覧を表示します。選択してください。
フォルダーの名称:	フルパスフォルダーの一部の文字を指定します。
ファイルの名称	画像ファイルの一部の文字を指定します。
画像のタイプ:	BMP, GIF, JPG, PNG, TIF, WMF, MP4, MOV, MPG, AVI のどれかを選択します。
メディアのタイプ:	HDD, CD< DVD, CARD, USB のどれかを指定します。
登録日:	画像を登録した年月日の期間を範囲指定します。
ファイルサイズ:	画像ファイルのファイルサイズの範囲を指定します。1KBから1GBまで指定できます。

表示条件

ファイル名称順表示:	ファイル名のコード順に表示します。指定しない場合、登録日順に表示します。
表示件数:	検索結果を画面に表示する件数を指定します。この件数より表示件数が多い場合、分割して表示可能です。
検索ボタン:	検索を開始します。
開始:	検索結果を表示後、表示している画像が抽出件数内の何番目からの表示なのかを示します。
件数:	検索結果を表示後、表示している画像の件数を示します。
前ボタン:	分割表示している場合、前の分割画像を表示します。
次:ボタン:	分割表示している場合、次の分割画像を表示します。

抽出データ処理

全選択ボタン: 表示中の画像の全てにチェックを入れて選択します。

全解除ボタン: 表示中の画像の全てからチェックをはずします。

画像情報出力ボタン: 表示中の画像の選択されたものの画像情報をダウンロード、印刷、または画像を複写する画面に移動します。

選択を処理済にボタン: 選択されている画像を処理済みにします。再表示しない限り選択できなくなります。
この機能は画像情報出力ボタンの機能を使用した後で同じ処理を重複して行わないために用意されています。

画像データ

チェックボックス: チェックを入れると選択したことになります。画像情報出力ボタン、選択を処理済ボタンの処理対象となります。

マウス左クリック: 画像情報を表示します。画像情報の意味を下記します。

データ名: 画像が存在するインデックスに付けられた名称。

コンピュータ名: 画像のインデックスを作成したPCの名称。

メディア: インデックス生成時に指定したメディアタイプ。

パス名: 画像が存在するドライブ下のフルパス名。

ファイル名: 画像に付けられたファイル名。

サイズ: 画像ファイルのサイズ。

登録日: 画像ファイルが作成された年月日。



マウス右クリック:画像ファイル編集メニューを表示します。メニュー内に項目を説明します。

ファイル名:画像のファイル名を表示します。

画像読込ドライブ指定:画像を表示するときにINDEXに登録されているドライブと違うとき、チェックを入れて読み込みドライブを指定します。
また画像の編集を行う場合、画像がCARDやUSBに存在しINDEXに登録されているドライブと違うとき、チェックを入れて画像が存在するドライブを指定します。
ドライブ内で画像のフォルダー等が変わってしまっている場合、読み込みできません。

ファイル名変更ボタン:新ファイル名に入力したファイル名に変更します。

新ファイル名:新しいファイル名を入力します。ファイル拡張子は入力できません。
元のファイル名の拡張子を引き継ぎます。

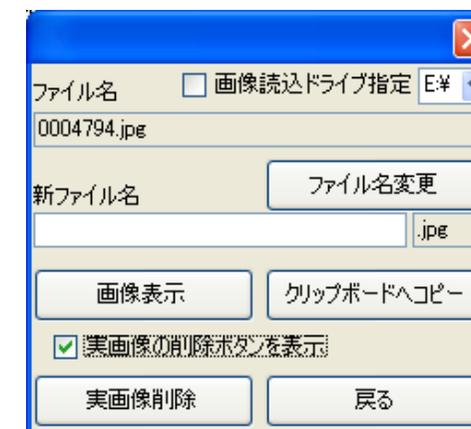
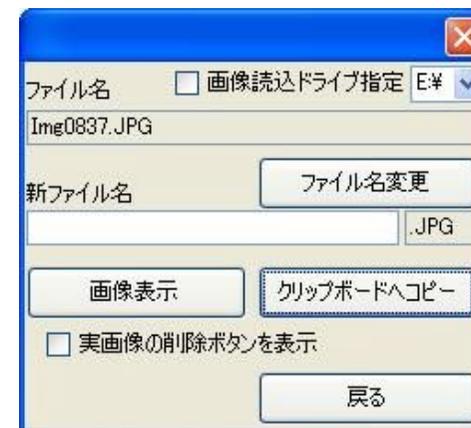
画像表示ボタン:画像を表示します。画像が表示されないとき、ドライブを確認してください。
ドライブが違う場合は画像読込ドライブ指定で現行のドライブにしてください。

クリップボードへボタン:画像をクリップボードにコピーします。
画像が表示されないとき、ドライブを確認してください
ドライブが違う場合は画像読込ドライブ指定で現行のドライブにしてください。

実画像の削除ボタン表示:チェックすると「実画像削除ボタンを表示します。」
誤って削除しないように2重の操作にしています。

実画像削除ボタン:実画像を削除します。インデックスからも画像情報を削除します。
元に戻せませんので注意して操作ください。

戻るボタン:画面を閉じます。



1.3.3 画像情報出力

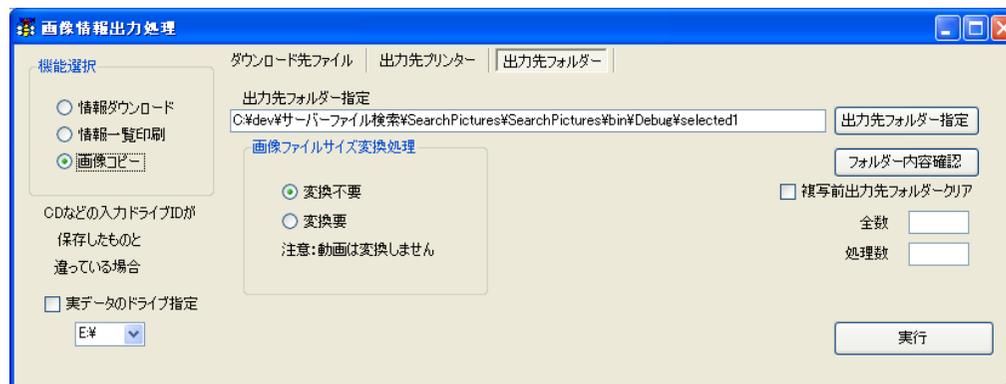
機能選択

情報ダウンロード: 画像情報をファイルに出力する画面を表示します。

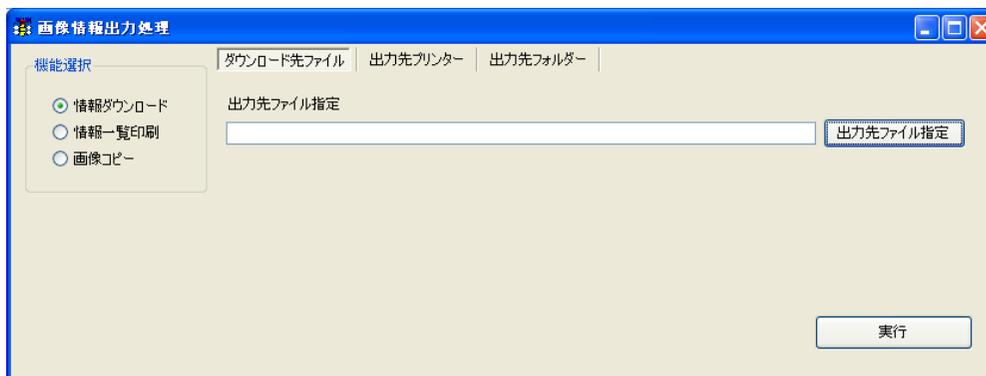
情報一覧印刷: 画像情報を印刷する画面を表示します。

画像コピー: 画像をコピーする画面を表示します。

機能選択以外の指定は各画面で記述しています。



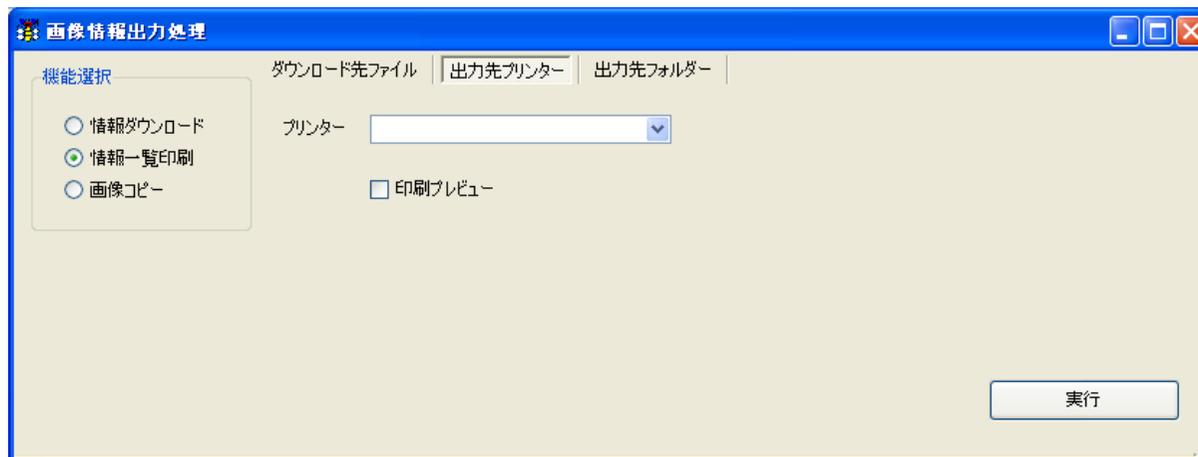
情報ダウンロード画面



出力先ファイル指定: 画像情報を出力するファイル名を指定します。存在している場合上書きします。

実行ボタン: 画像情報をファイルに出力します。

情報一覧印刷画面

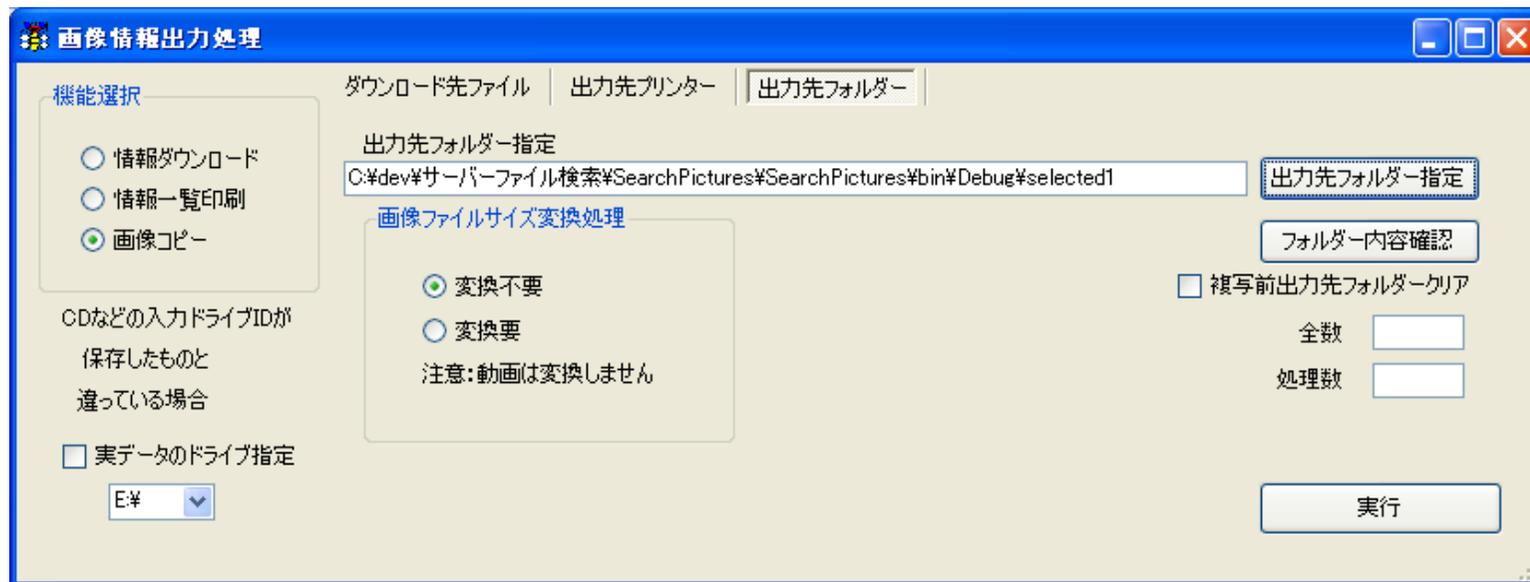


プリンター: 出力先のプリンターを選択します。指定しない場合、PCのデフォルトプリンターに出力します。

印刷プレビューチェックボックス: チェックを入れるとプリンターに出力するのではなく出カイメージを画面に表示します。

実行ボタン: 画像情報を印刷します。

画像コピー画面



実データのドライブ指定: インデックスの情報に存在するドライブと実際に画像ファイルが存在するドライブを違う場合に指定します。チェックを入れてドライブを選択してください。入力することも可能です。

出力先フォルダー指定: 画像のコピー先フォルダーを指定してください。プログラムを実行しているところに以下のサブフォルダーを用意しています。自由に使用できます。また、新しいフォルダーを作成することも出来ます。

フォルダー内容確認ボタン: 出力先フォルダーに指定されたフォルダー内のファイルを表示します。コピー前、コピー後に確認のため使用できます。

複写前出力先フォルダークリアボタン: チェックを入れるとコピー前にフォルダー内のファイルの全てを削除します。

全数: コピー対象件数を表示します。

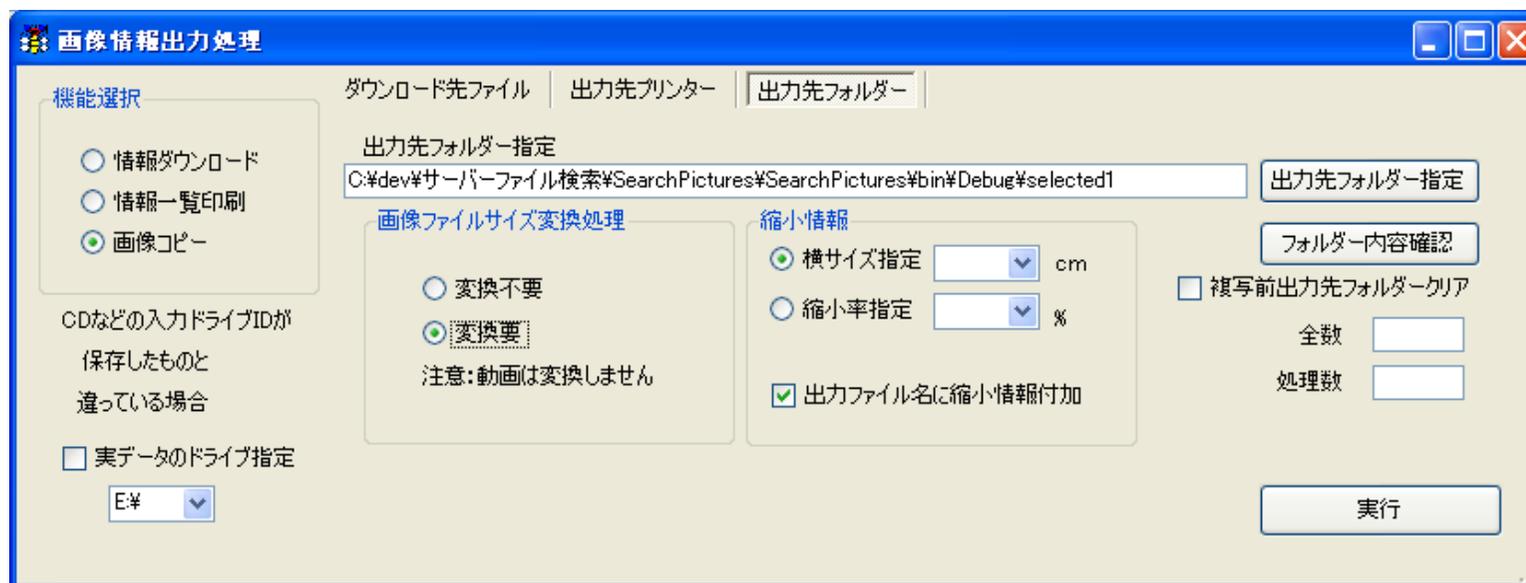
処理数: コピーした件数を表示します。

実行ボタン: コピーを開始します。

画像ファイルサイズ変換処理

変換不要: チェックを入れるとコピー先をコピー元と同じ画像サイズで作成します。

変換用: 画像サイズを変更します。縮小情報の指定が可能になります。



縮小情報

横サイズ指定: 縮小するときに画像の横方向サイズを長さで指定する場合にチェックを入れ、サイズを選択します。
サイズを入力することも可能です。

縮小率指定: 縮小するときに画像を縮小率で指定する場合にチェックを入れ、縮小率を選択します。
縮小率を入力することも可能です。

出力ファイル名に縮小情報付加: 縮小したファイルがわかるようにファイル名に縮小情報を付加するときにチェックを入れます。

例)

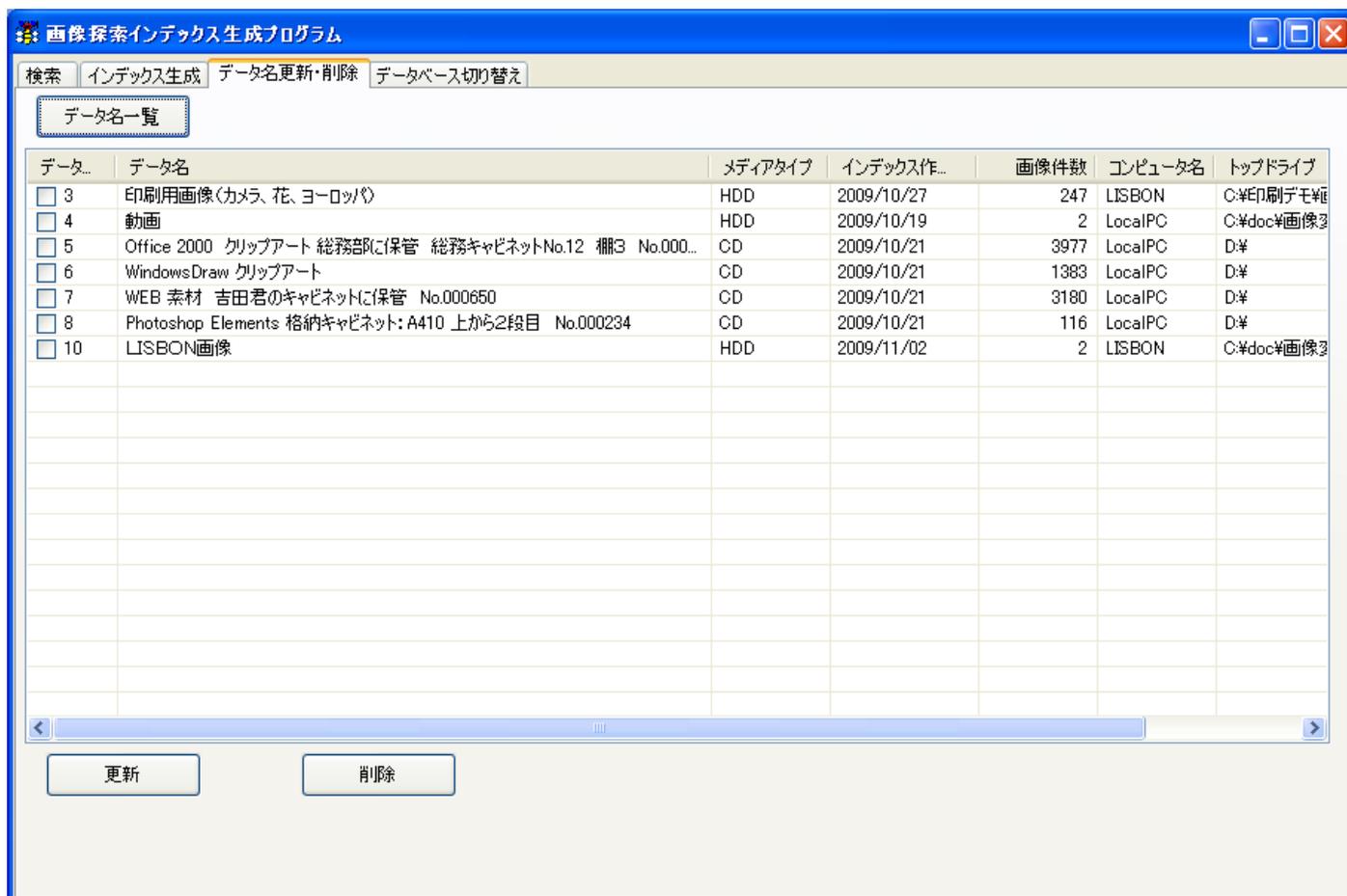
コピー元ファイル名: お台場.JPG

コピー先ファイル名: お台場_4cm.JPG

補足情報

コピーして画像ファイルを1つのフォルダーに集めることでCDやDVDに出力することが楽になります。

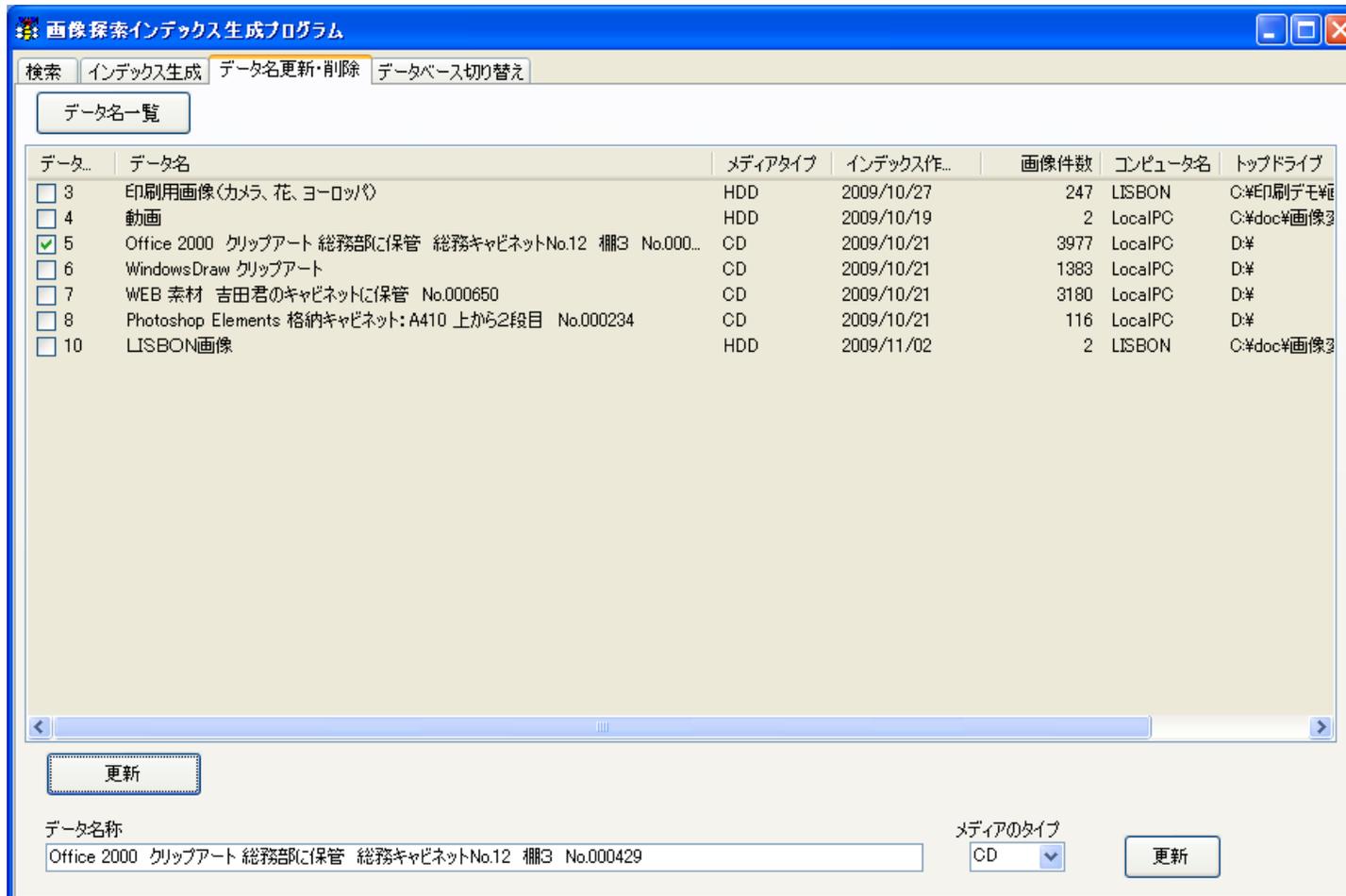
1.3.4 データ名更新・削除



データ名一覧ボタン: 押下すると登録されているデータの全てを一覧形式で表示します。

更新ボタン: データ名一覧中の行を選択し、このボタンを押下することでデータ名を変更することが出来ます。以下の画面を表示します。

削除ボタン: データ名一覧中の行を選択し、このボタンを押下すると選択したデータ名のインデックス情報全てを削除します。。



データ名称: 選択した行のデータ名を表示します。変更が可能です。

メディアのタイプ: メディアを変更します。この機能はインデックス生成時の指定でメディアタイプを誤って指定したときの訂正のために用意されています。

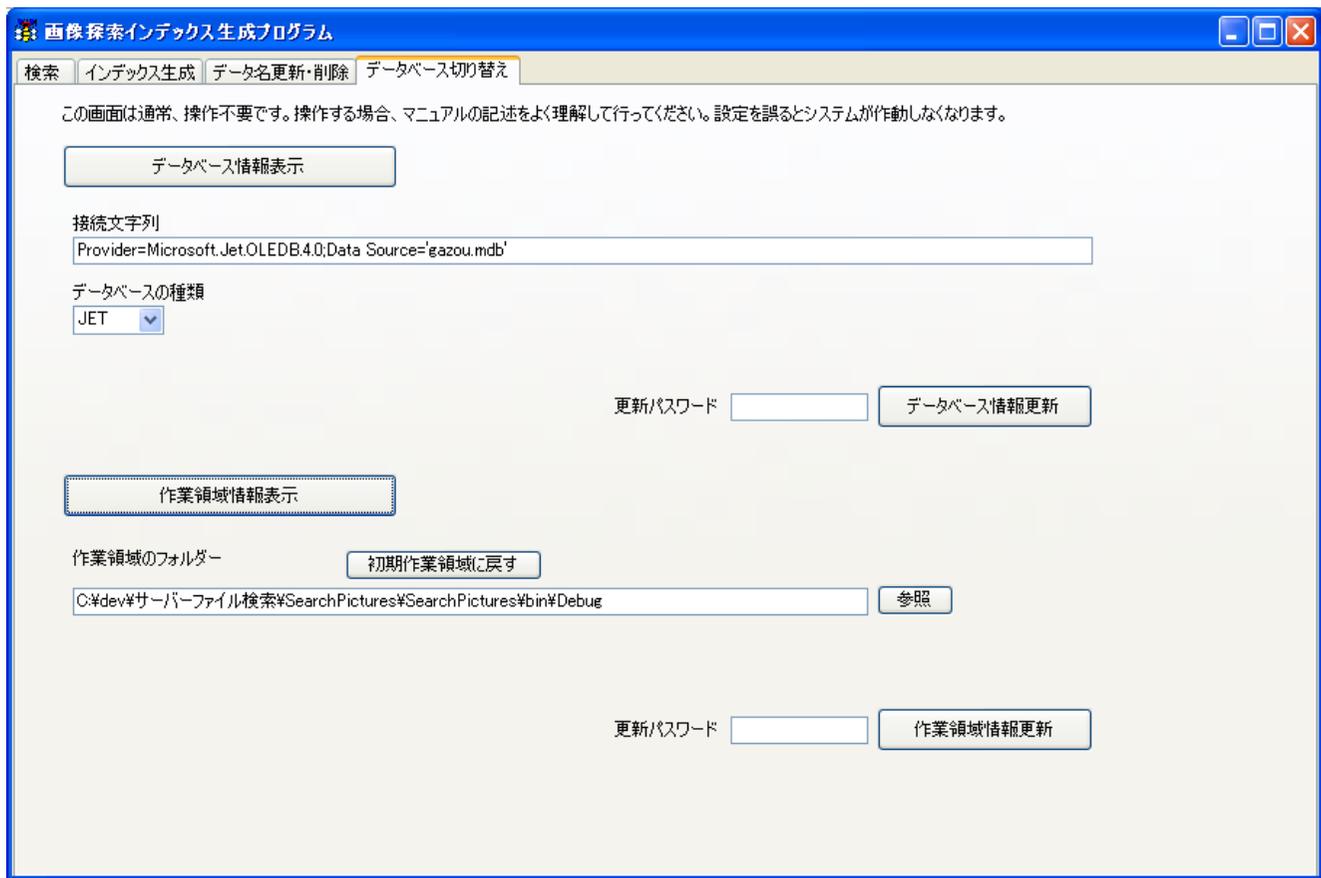
更新ボタン: データ名を登録します。データ名の文字、メディアタイプ、更新ボタンを閉じます。

1.3.5 データベース切り替え



データベース情報表示ボタン: 接続しているデータベースの情報を表示します。

作業領域情報表示ボタン: システムの作業領域の情報を表示します。



データベース情報

接続文字列: 使用中のデータベースに接続するために必要な接続文字列です。

データベース種類: 通常JETで使用いたします。

更新パスワード: データベース情報を更新するときに必要です。パスワードは公開されていません。

データベース情報更新ボタン: カスタマイズ対応のため用意されていますが通常更新は出来ません。

作業領域情報

作業領域のフォルダー: システムの作業領域を表示します。現在プログラムを実行中のフォルダーが作業領域のフォルダーになっています。

初期作業領域に戻すボタン: プログラム導入時の作業領域に戻します。(通常更新できないので変更不可です。)

更新パスワード: 作業領域情報を更新するときに必要です。パスワードは公開されていません。

作業領域情報更新ボタン: カスタマイズ対応のため用意されていますが通常更新は出来ません。

1.3.6 製品切り替え

画像検索インデックス生成プログラム

検索 インデックス生成 データ名更新・削除 データベース切り替え **製品への切替**

購入したライセンス文字を入力ください。
続けて3回入力を誤ると登録できなくなりますので
再度プログラムを起動してください。

GAZOU -

半角5文字 半角5文字

製品への切替方法

株式会社システムズテクノロジーのホームページに入りメニューの「購入方法・保守サービス」画面から
「その他の商品 購入方法」の「購入商品確認フォーム」でお申し込みください。
製品版へ切り替えるためのライセンスキーをお送りします。

[株式会社システムズテクノロジー ホームページへ](#)

購入後、弊社からお送りするライセンスキー入力で使用する画面です。

キー入力後、登録ボタンを押下ください。

3回入力に失敗するとプログラムは終了します。

登録に成功するとこの画面は表示されなくなります。

2. サンプルインデックスについて

インストールするとサンプルとしてハードディスク、CD、USBメモリから生成した3つのインデックス情報が使用できます。

このインデックスを利用して操作方法の確認を行うことができます。

しかし、実画像は添付されておきませんので実画像を必要とする機能はご使用できません。

お客様の画像インデックスを作成した後でこれらのサンプルは削除してください。